

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス もくせいクラブ		
○保護者評価実施期間	7年 2月 3日	～	7年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	7年 2月 3日	～	7年 2月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	7年 3月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の特性でもある、豊富な自然の中での遊びや、体を使った遊びなど、非デジタル的な遊びを重視して、四季の移り変わりを感じて貰う。</li> <li>食物を育てて、自分達で調理して食べるという食育も重視している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>季節ごとの行事や、様々な場所に出掛けて、体験・経験を積み重ねて行く事を大事にしている。</li> <li>調理器具を使って自分達で調理する事により、自立に向けた一助になるように意識している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も、体験や経験を積み重ねて、子ども達が主体的に選択できる力や柔軟性を持てるよう活動を行っていく。</li> <li>偏食のある子どもの食の広がりや、将来的に自立に繋がるよう意識して調理活動等おこなっていく。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学生から高校生まで、幅広く受け入れしているため、異年齢との交流、関わり方が学べる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年上の子が年下の面倒を見たりして、思いやりの心が育つよう、意図的にシチュエーションを作ってやっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人数の多さや物理的に限られた建物環境という事もあり、活動をグループ分けして行いながら、より個別に対応していく。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部講師を招いての教室活動(絵画・音楽・日舞・書道・パソコン)を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教室の雰囲気作りや参加する子ども達の組み合わせ等にも配慮している。</li> <li>最後までやり通すという事を意識して行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教室によっては、参加メンバーを追加したりしながら、できる限り希望に添えるようにしていく。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所の物理的構造が、部屋数が少なく、空間が限られている事。感覚過敏を持ち合わせた児童にとっては、気分を落ち着かせられる空間が殆どない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用の問題などもあり、移転や増築等ができない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時にはパーティションで空間を仕切ったり、静かな屋外に出てもらおう等の対応はさせていたっているので、今後も継続していく。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族に向けた研修会や、家族同士が交流できる場を作っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校のPTA活動もあったり、就労されている保護者もいたりするため、どのタイミングで開催するべきか、家族の負担にならないかなどの不安がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の送迎での家族との対話や、話し合いの場での家族の意向や思いを今後も大切にしていく。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>定員20名なので、時には建物が騒々しい時もあり、感覚過敏の子ども達にとっては居心地の悪い時もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物理的な要因もあるが、ソフト面での工夫の貧しさもある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動を、子ども達の相性等も考慮しながらグループ分けすると共に、活動場所を屋外や法人内の他事業所を使って活動する事を継続していく。他にも職員同士でアイデアを出し合いながら、改善していく。</li> </ul>